






コロナ時代に考える多文化共生

新型コロナウイルス感染症の流行により、日本に住む外国人市民にとっても、さまざまな影響がありました。情報へのアクセス方法、支援制度の複雑さ、差別的なまなざし…姿の见えない「ウイルス」に対して、私たちはどのように評価し、立ち向かっていけばよいのでしょうか。ともに考え、語り合しましょう。

	14:00~15:00	講師3名からの発表、話題提起
	15:00~15:10	休憩
	15:10~16:00	パネルトーク、グループディスカッション (ブレイクアウトセッション機能を使用します)



講師：小笠原 理恵

大阪大学大学院人間科学研究科助教。ユネスコチェア事務局。
アメリカと中国で看護師、医療通訳としての勤務歴を持つ。著書「多文化共生の医療社会学
中国帰国者の語りから考える日本のマイノリティ・ヘルス」など

講師：ゼア ローズ

箕面市国際交流員として、2019年より勤務。
ニュージーランド・クライストチャーチ市出身



講師：クラウディア エリウス オセゲダ フィゲロア

箕面市国際交流員として、2019年より勤務。
メキシコ・クエルナバカ市出身

日時： 11月28日(土) 14:00~16:00

定員： 40名(申込み先着順)

参加費： **無料** 参加にはインターネットに接続されたパソコン、スマートフォン等が必要です。



お申込み方法

左記QRコードより、お名前、メールアドレスなどをご登録ください。
セミナー当日までにZoomミーティングルームのURLをメールでお送りします。

